

救命救急支援を目的としたAED ドローンの実証実験に協力しました

3月11日(月)北杜市須玉町増富地区において、北杜市・TOPPAN・エアロダイнによる、遠隔地の救命救急支援を目的としたAEDドローンの実証実験が行われ、峡北消防本部もアドバイザーとして参加しました。

この実験は、遠隔地において早期に救命救急処置(AED装着)が必要な方に対し、救急車到着前にAEDを搭載したドローンを遠隔操作により飛ばし、近くに届けることにより、救命率向上を目指す事業です。

当日は、心肺停止患者の発生からドローンAEDの発着、実際に使用するまでのデモンストレーションを行い、迅速性や有用性の検証を行いました。

今後は、効率的な配置場所や飛行ルートなどの運用に向けた様々な課題解決に取り組み、消防本部としても一人でも多くの命が救えるよう願っています。



▽コンセプト動画はこちらからご覧ください▽

